

アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[金沢市立浅野川小学校] 担当教諭[原 賢志]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[6年 2組24名][年 組 名][年 組 名]			
実施期間: 2010年 5月 ~ 2011年 3月			
交流:無・㊦ 国名[台湾] 学校名[志開小学校] 学年[4] 担当教諭[Bo Pei-Yao(薄培瑤)]			
実施教科・時数	教科	単元名	時数
アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	総合的な学習の時間	じまんの金沢を台湾に伝えよう	30
	英語科+朝学習	日本大好き+自己紹介しよう	4+15分ショート×2
	図工科	じまんの金沢を描こう	6

■作品について教えてください。

題(テーマ)	ふるさとを大切にする気持ちをつなげよう
絵に込めたメッセージ	<p>幸運にして、戦災に合わず、町並みがそのまま残っている数少ない伝統・文化が現存している「金沢」。</p> <p>私達は、その「金沢」に生まれ、育ち、伝統や文化を守り続けてきたこの「金沢」の素晴らしさを知りました。</p> <p>戦争や諍いに犯されなかった「金沢」の伝統的な建物や、ずっと大切に守り続けてきた伝統・文化を伝えて、これからも平和の大切さを広めていきたい。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	4月	英語を学ぶ目的と相手意識をもつ。 総合的な学習で調べるテーマを、交流相手に絵で知らせるという見通しをもつ。	本当に外国に友達を作ることが出来るのかという疑心暗鬼だが、大いに期待している様子。 「金沢のことならわかっているよ」という言葉。	英語 総合
情報収集	一年間	「交流相手を知ろう」自己紹介カードやメールの交換と共に相手国を本やインターネットを通じて調べる。(年間) 社会単元「世界の中の日本」の中国の学習の発展教材(1月に)	交流相手が具体化しているため、彼らを思い浮かべながら、積極的に本やインターネットを使って調べる姿があった。地理、環境の内容より、台湾の子ども達の生活の様子や習慣、流行っているものを率先して調べていた。	総合 社会
テーマ検討	9月～ 12月	「自己紹介をして、金沢クイズを出そう」メールやTV会議などで、自己紹介を行い、自分達の住んでいる町についてクイズを出す。	これまで調べ発表した「ふるさと金沢」の伝統や文化について、全校に向けての発表より積極的に工夫された内容で、伝えようとする姿があった。金沢を知らない、外国の同世代の友達という相手が、伝えたいというモチベーションを上げたと捉えている。	総合
制作	3月	構図決め→下書き→彩色→仕上げ 全ての行程をクラス全員が参加して話し合いながら進めていった。	これまでの調べ活動で、「金沢」を通してもらった想いや願いが強いため、作品を描く行程に、想いがこめられていった。	総合

鑑賞	3月	送られて来た絵を鑑賞して、それぞれの町の素晴らしさを伝え合おう	開いた絵を見て、「すごい」と歓声を上げ1枚の絵になった喜びを味わった。どんな絵であっても、相手の絵を高く評価する姿があった。	総合
----	----	---------------------------------	--	----

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった）

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル		5・④・3・2・1	外国の友達とどのようにコミュニケーションをとればよいか思いもつかなかった子どもにとって、パソコンを利用することで気軽にできることを知れたから
情報活用能力(収集・発信)	5	5・④・3・2・1	自文化の理解が想像以上に進んだことから
人間関係をつくる(交流相手・学級内)	1	5・④・3・2・1	グループ学習、作業を取り入れたことで、協力して行う姿が多く見られたから
協同作業をする力(役割・段取り)	4	5・④・3・2・1	一人ひとりが責任を持って自分の役割を果たしていたから
異文化の理解	3	5・④・3・2・1	未知の文化であった台湾について知る機会が得られたから
自文化の理解・自分を見つめる	2	5・④・3・2・1	郷土の文化について、理解を深められたことから
表現力		5・④・3・2・1	校内で発表会を行ったときに、どのようにすれば低学年にもわかってもらえるか考えていたから
学習を追究する意欲		5・4・③・2・1	より自発的な姿を求めていたため
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	台湾から戻ってきた絵にどのようなものが描かれているか興味を持って見ていたから

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
様々な成果があるのだが、外国を身近に感じる事ができたことが一番大きい成果だと思える。	担任同士の情報交換やこまめに連絡をやり取りすることが、この取り組みには不可欠だと理解できた。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
同じ国、学校、学年でありながら、戻ってきた絵における相手国の担任の指導の入れ具合に差があり、他クラス、他学年には見せることはなかった。	同左

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

一年間ありがとうございました。